

図-4 原子炉容器供用期間中検査

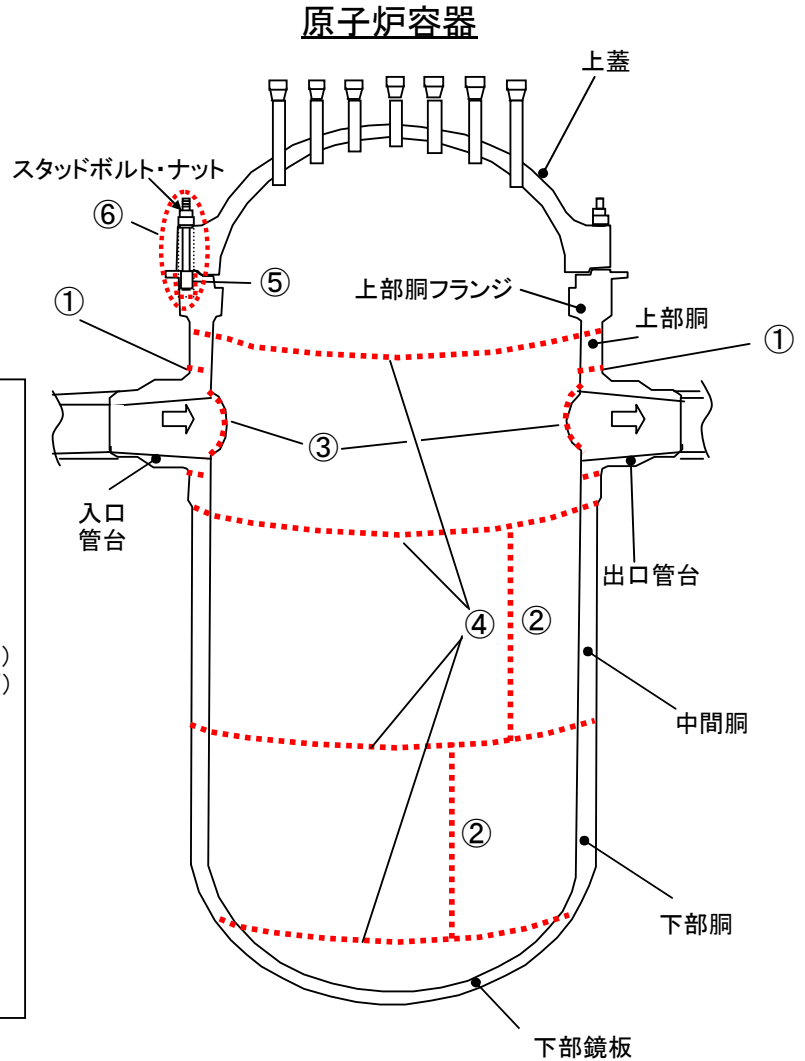
検査概要

原子炉容器の供用期間中検査として、原子炉容器溶接部等の超音波探傷検査を行い、健全性を確認する。

超音波探傷検査の箇所

..... : 検査箇所

- ① 主冷却材入口管台と胴との溶接継手 (A~Cループ)
主冷却材出口管台と胴との溶接継手 (A~Cループ)
全6箇所の溶接部を検査
- ② 中間胴の長手継手
下部胴の長手継手
全6箇所の溶接部を検査
- ③ 主冷却材入口管台内面の丸みの部分 (A~Cループ)
主冷却材出口管台内面の丸みの部分 (A~Cループ)
全6箇所の丸み部を検査
- ④ 胴の周継手
全4箇所の溶接部を検査
- ⑤ 胴フランジ ネジ穴のネジ部
58箇所中14箇所を検査
- ⑥ スタッドボルト
58本中11本を検査



検査装置の概要

